



東小学校便り

木 洩 れ 陽

令和3年4月13日 No.1

令和3年度が始まり、十日あまり経ちました。今日から、いよいよ新1年生が入学します。東小学校の全校児童が集い、新しい歴史を刻んでいくことになります。

さて、今年も月に一度、東小学校便りを保護者の皆様にお伝えしていこうと考えております。本年度のタイトルは『木洩れ陽』。木々の梢から差し込む日の光は穏やかで、木陰に集う子どもたちを優しく包みます。そういう学校便りになることを願って名付けました。保護者の皆様のお役に立つことがあるならば幸いです。

【「はい」という返事を大切に】

相手からのメッセージを受け取るときに発する言葉に「はい」があります。この「はい」を漢字で表すと「拝」。つまり、あなたの言ったこと、あなたから発せられたものを謹んで確認しました、了解しましたという返信のメッセージが込められています。言葉にすれば「はい」というわずか2文字に、相手を尊ぶ姿勢が込められているわけです。

まず、相手から発せられたメッセージに対して「はい」と肯定的に対応する姿勢。そして、その後に「分かりました」「(それに対して) 質問があります」「(この部分では) 納得がいきません」等の言葉が継がれるようになったら、もう一人前の人物に育ったと言えるのではないのでしょうか。大切にしたい言葉の一つです

桜舞う通学路にて・・・

始業日以降、校内で子どもたちの登校の様子を見ながら、挨拶を行なっています。先日、6年生のある児童が、2人の下級生と笑みを交わしながら登校していました。下級生は6年生に全幅の信頼を寄せた表情をしておりました。挨拶をしながら通り過ぎて行く3人に、ハラハラと桜の花びらが舞い散っていました。明日からそこに新1年生の姿も加わることでしょう。新1年生を学校に引き連れてくる上級生に、深く感謝したいと思います。

